

二九九一番

たらちねの 母ははが飼かふ蚕この 繭まよこも隠り いぶせくも
あるか 妹いもに逢あはずして

二九九二番

玉たまだすき かけねば苦くるし かけたれば 継つぎて見み
まくの 欲ほしき君きみかも

二九九三番

紫むらさきの まだらの纒かづら 花はなやかに 今日けふ見みし人ひとに
後のち恋こひむかも

二九九四番

玉たまかづら かけぬ時ときなく 恋こふれども なにしか
妹いもに 逢あふ時ときもなき